

未来を見据えた政策をさらに前進

～砂沼周辺のまちづくりや再生可能エネ導入～



◆プロフィール◆

菊池 博 (きくち・ひろし) 1962年6月12日生まれの59歳。中央大学理工学部管理工学科卒業。2003年、旧千代川村議会議員に当選。市町村合併後も議員として市政に関わった。18年に市長就任。今回、2期目の当選を果たした。趣味は読書と犬の散歩。1期目の選挙の時から飼っている黒柴との散歩が日課となっている。

◆公共施設の未来は
下妻公民館と市民文化会
館の在り方については以前
から検討していたが、新型
コロナの感染拡大以後、感
染症対策を意識した運営方
法を当然考えていかなくて
はならなくなつた。人を集め
てイベントを実施するよ
うに努めていたが、いつた
い。従来のスタイルを根本的
に見直していくかなく



◆建設業の機動力を頼り
に
一昨年8月に、下妻市建
設業会、千代川建設業協
会、下妻市電友会、下妻市
上下水道組合、下妻市造園
協会の5団体で意見交換
会を開催された。昨年はコロナの
影響で、開催できなかったが、今年はまた話し合いの
場を設けられればと思う。
意見交換は、一年に一回は
行いたい。

◆市を育む資源・砂沼
砂沼は、下妻の宝であり
資源であるため、これをうまく活用すれば、観光における集客や住みよいまちづくりができるのではないかと
いう意見も多いため、砂沼を中心としたエリア全体のまちづくりを進めていく。
現在、砂沼サンビーチ跡

◆吹き始めたことを感じてい
てきの種が、少しづつ芽
吹き始めたことを感じてい
る。その中で見えてきた課
題を解決し、なつかつま
で藤いた種の、その実を結
ぶたいというのが一番の抱
負。

政治というのは、5年、
10年後に結果が出てくる。
それを見据えて、今できる
ことを最大限に進めてい
たい。
砂沼周辺でのまちづくり
など、大きな事業を進め
る際には、公民連携で進
んでいけばと思う。この場
合、民間の方たちの発想を
行政にいかに連携させてい
けるかが課題となると考え
ている。

◆実を結ぶための4年間
へ
1期目4年間の中で藤い
てきの種が、少しづつ芽
吹き始めたことを感じてい
る。その中で見えてきた課
題を解決し、なつかつま
で藤いた種の、その実を結
ぶたいというのが一番の抱
負。

政治というのは、5年、
10年後に結果が出てくる。
それを見据えて、今できる
ことを最大限に進めてい
たい。

砂沼周辺でのまちづくり
など、大きな事業を進め
る際には、公民連携で進
んでいけばと思う。この場
合、民間の方たちの発想を
行政にいかに連携させてい
けるかが課題となると考え
ている。

このたび2期目の当選を果たした菊池博市長。1期目では、砂沼を中心としたまちづくり、新たな工業団地、再生可能エネルギー導入など、市の未来を見据えた事業を進めるための積み重ねを重視した。市が抱える課題と真摯に向かい続けた4年間を経て、今後どのように政策を進めていくのか。「積小為大」を座右の銘とする菊池市長の思い描く、市のビジョンについて話を聞いた。

下妻公民館

今年度に方向性探る

等の工事が始まっているの
で、これらが稼働するのを
見届け、新たな工業団地の
企業誘致についても考え
ていただきたい。

実現となると考えている。

地については、プロポー

ザルで選定された民間の団

体が県と協議していると

ころ。

市でも、公民連携による

まちづくり構想「砂沼戦

略」に基づき、「下妻らし

い豊かな暮らし」を体现・

実現できよう。

分野や立

場、世代を超えた建設的な

協働を促進するための仕組

みづくりを行っていった

い。

についても、民間企業の発

想を取り入れていくことを

手法の一つとして慎重に考

えたい。

また、下妻駅の東側は、

しまつま鯨工業団地や新た

な工業団地の玄関口にもな

る。今までは、玄関口

という市の顔として寂しい

と思うので、市有地などを

活用する方向性で検討して

いきたい。

ゼロカーボンシティ宣言

の第一段階としては、新

庄舎のZEB化がある。ま

た、再生可能エネルギー導

入計画の策定、カーボンマ

ネジメント推進会議の立ち

上げなどを行った。推進会

議では、導入計画などをよ

うに表現していくかを検

討していく。

下妻市には、豚の糞尿や

もみ殻、梨の剪定枝など

バイオマス発電に活用でき

る資源が多くある。今は

議では、導入計画などをよ

うに表現していくかを検

討していく。

たな工業団地の整備が進む

うとしている。本年度中に

地権者と交渉し、2022

年度前半で用地買取を完了

させ、23年度の春に造成に

着手、24年12月完成を目指

している。

誘致する企業について

は、雇用や税収の面から、

製造業にだわりたいと考

えていた。

また、しまつま鯨工業団

地では、エスティローダー

ーは、雇用や税収の面から、

製造業にだわりたいと考

えていた。

現在、工業団地の調整池

を太陽光発電所として利用

する仕組みを考えていて

隣接する企業の意向を確認

している。

企業側でも、カーボン

ニュートラルを意識する時

代の流れになつてていると思

うので、うまくマッチング

できれば。

太陽光発電については、

SDGsの観点からももちろ

ん、災害など非常時の電

力を活かしきれていない

ので、うまく発電という形

で利用できたら、SDGs

の観点から、最終的には取

り組まなければならない一

つの目標として進めていき

た。

◆太陽光発電については、

SDGsの観点からももちろ

ん、災害など非常時の電

力を活かしきれていない

ので、うまく発電という形

で利用できたら、SDGs

の観点から、最終的には取

り組まなければならない一

つの目標として進めていき

た。

◆厅舎跡地も民間と連携

して、これまでに建設する

企業で電気を使って、非常時

には公民館などの公共施設

避難所で使う、そういうこ

とを理想としている。

◆厅舎跡地は官民連携を検討

してはならない。

こうしたことを踏まえ、

施設の方向性は今年度中に

決めたい。解体か改修か、

新たに建設するか、再検討

していく。

人口も減少傾向にあり、

今までど同じ規模でいいの

か、そういう観点からも

検討する。

◆建設業の機動力を頼り

に

一昨年8月に、下妻市建

設業会、千代川建設業協

会、下妻市電友会、下妻市

上下水道組合、下妻市造園

協会の5団体で意見交換

会を開催された。昨年はコロナの

影響で、開催できなかつた

が、今年はまた話し合いの

場を設けられればと思う。

意見交換は、一年に一回は

行いたい。

だいている。機動力ある建

設業界をはじめ各団体の方

も、協定を締結している團

体から力を貢してもらい、

大変心強かつた。日頃から

倒木や降雪時には、いち早く

復旧のため出動していた

機動力ある建

設業界をはじめ各団体の方

も、協定を締結している團

体から力を貢してもらい、

大変心強かつた。日頃から

倒木や降雪時には、いち早く

復旧のため出動していた

機動力ある建

設業界をはじめ各団体の方

も、協定を締結している團